

平成30年5月24日

平成30年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定結果の発表 及び認定証の交付について

平成30年4月17日（火）及び4月24日（火）に開催された「日本遺産審査委員会」の審議を経て別紙1の13件を平成30年度の「日本遺産（Japan Heritage）」に認定するとともに、以下のとおり、平成30年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定発表及び認定証交付式を行います。

○ 平成30年度日本遺産認定発表及び認定証交付式

日 時：平成30年5月24日（木）11時00分から

場 所：東京ステーションホテル 鳳凰

詳しくは、以下の資料を参照願います。

- 別紙1 平成30年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定一覧
- 別紙2 平成30年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定概要
- 別紙3 平成30年度「日本遺産（Japan Heritage）」申請一覧
- 別紙4 日本遺産（Japan Heritage）」について
- 別紙5 日本遺産審査委員会委員名簿

<担当> 文化庁文化財部記念物課

課長	大西 啓介（内線 2873）
課長補佐	中島 充伸（内線 3101）
専門官	菊地 史晃（内線 2874）
企画調整係	佐藤 宏之（内線 4768）
	藤田あかね（内線 4760）
	高橋 伴幸（内線 4768）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4760（直通）

平成30年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定一覧

番号	道県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町	カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふとりに伝承される神々の世界～
2	山形県	◎山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町)	やまでら <small>べにばな</small> 山寺が支えた紅花文化
3	栃木県	宇都宮市	地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～
4	栃木県	◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町	明治貴族が描いた未来 ～那須野 <small>なすの</small> が原 <small>はら</small> 開拓浪漫譚～
5	富山県	南砺市	宮大工の鑿 <small>のみ</small> 一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
6	山梨県	◎山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)	葡萄畑が織りなす風景ー山梨県峡東地域ー
7	長野県、山梨県	◎長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村)、山梨県(甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)	星降る中部高地の縄文世界ー数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅ー
8	静岡県、神奈川県	静岡県(◎三島市、函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道ー箱根八里 <small>はこねはちり</small> で辿る遥かな江戸の旅路
9	和歌山県	広川町	「百世の安堵 <small>あんど</small> 」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
10	岡山県	◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～
11	広島県	福山市	瀬戸の夕風 <small>ゆうなぎ</small> が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～
12	大分県	◎豊後高田市、国東市	鬼が仏になった里「くにさき」
13	宮崎県	◎西都市、宮崎市、新富町	古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー

平成30年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定概要

- ① ◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町（北海道）

※◎印は代表自治体（以下同）

《カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～》

（ストーリーの概要）

美しく厳しい大雪山のふところに、カムイ～神～を見出し共に生きた“上川アイヌ”。

彼らは激流^{ほとばし} 迸る奇岩の溪谷に魔神と英雄神の戦いの伝説を残し、神々への祈りの場として崇めた上川アイヌの聖地には、クマ笹で葺かれた家などによりコタンを形成し祈りを捧げ続ける。

上川アイヌは「川は山へ^{さかのぼ} 溯る生き物」と考え、最上流の大雪山を最も神々の国に近く、自然の恵みをもたらす、カムイミンタラ～神々の遊ぶ庭～として崇拝してきた。

神々と共に生き、伝承してきた上川アイヌの文化は、この大地に今も息づいている。



【大雪山の雄大な自然】

- ② ◎山形県（山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町）

《山寺^{やまでら}が支えた紅花^{べにばな}文化》

（ストーリーの概要）

鬱蒼^{うつそう}と茂る木々に囲まれた参道石段と奇岩怪石^{きがんかいせき}の景勝地「山寺」。この山寺から始まった紅花栽培と紅花交易は莫大な富と豊かな文化をこの地にもたらした。石積の板黒塀^{いしづみ いたくろべい}と堀に囲まれた広大な敷地を持つ豪農・豪商屋敷には白壁の蔵座敷^{くらざしき}が立ち並び、上方文化^{かみがたぶんか}とのつながりを示す雅^{みやび}な雛人形^{ひなにんぎょう}や、紅花染^{べにばなぞ}めの衣装を身に着けて舞^{まわ}う舞楽^{まがく}が今なお受け継がれ、華やかな^{いろど}彩りを添える。この地の隆盛を支えた山寺を訪れ、今も息づく紅花畑^{べにばな}そして紅花豪農・豪商の蔵座敷を通して、芭蕉^{ばしやう}も目にした当地の隆盛^{しの}を偲ぶことができる。



【山寺】

③ 宇都宮市（栃木県）

《地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～》

（ストーリーの概要）

冷気が張りつめるこの空間は一体、どこまで続き、降りていくのだろう。壁がせり立つ巨大な空間には、柱が整然と並び、灯された明かりと柱の影が幾重にも続く。柱と柱の間を曲がると、同じ光景がまた目前に広がり、しだいに方向感覚が失われていく。

江戸時代に始まった大谷石採掘は、最盛期に年間 89 万トンを出荷する日本屈指の採石産業として発展し、地下に巨大な迷宮を産み出していった。

大谷石の産地・宇都宮では、石を「ほる」文化、掘り出された石を变幻自在に使いこなす文化が連綿と受け継がれ、この地を訪れる人々を魅了する。



【地下迷宮「カネイリヤマ採石場跡地」】

④ ◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町（栃木県）

《明治貴族が描いた未来 ～那須野が原^{なすのほら}開拓浪漫譚^{ろまんたん}～》

（ストーリーの概要）

わずか140年前まで人の住めない荒野が広がっていた日本最大の扇状地「那須野が原」。

明治政府の中枢にあった貴族階級は、この地に私財を投じ大規模農場の経営に乗り出します。

近代国家建設の情熱と西欧貴族への憧れを胸に荒野の開拓に挑んだ貴族たち。その遺志は長い闘いを経て、那須連山を背景に広がる豊饒^{ほうじょう}の大地に結実しました。

ここは、知られざる近代化遺産の宝庫。那須野が原に今も残る華族農場の別荘を訪ねると、近代日本黎明期の熱気と、それを牽引した明治貴族たちの足跡を垣間見ることができます。



【那須野が原の大パノラマの中に佇む松方別邸】

⑤ 南砺市（富山県）

《宮大工の鑿^{のみ}一丁から生まれた木彫刻美術館・井波》

（ストーリーの概要）

瑞泉寺^{ずいせんじ}の再建に端を発し、宮大工の鑿^{のみ}一丁から生まれた華麗にして豪壮な井波彫刻と、その木彫刻職人たちが造りあげたまち井波。彫刻工房と町家が軒を連ねる石畳の通りには、木槌の音が響き、木々の薫りが漂う。通りには至るところに七福神や十二支などの木彫刻が飾られ、まちはさながらに木彫刻の美術館である。春には井波彫刻で飾られた曳山や屋台、獅子舞がまちを練り歩き、地域の安泰や五穀豊穡を祈る。地域の暮らしに根づく井波彫刻は、その高い技術力や芸術性を広く全国から認められ、今や日本の木彫刻文化の護り手となっている。



【受け継がれる木彫刻の技】

⑥ ◎山梨県（山梨市、笛吹市、甲州市）

《葡萄畑が織りなす風景－山梨県峡東地域－》

（ストーリーの概要）

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。



【秋の葡萄畑】

- ⑦ ◎長野県（茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村）、
山梨県（甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市）

《星降る中部高地の縄文世界—数千年を^{さかのぼ}る黒曜石鉱山と縄文人に会う旅—》

（ストーリーの概要）

日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山がある。鉱山の森に足を踏み入ると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ^{かがや}く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきた。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされた。

麓のムラで作られたヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができる。



【黒曜石と「縄文ムラ」尖石遺跡】

- ⑧ ◎三島市、函南町（静岡県）、小田原市、箱根町（神奈川県）

《旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 —箱根八里で^{はこねはちり}辿^{たど}る遥^{はる}かな江戸の旅路—》

（ストーリーの概要）

『天下の険』と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道箱根八里。

江戸時代の大幹線であった箱根八里には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれました。

西国大名^{さいごくだいみょう}やオランダ^{しやうかんちやう}商館長、朝鮮通信使^{ちやうせんつうしんし}や長崎奉行^{ながさきぶぎやう}など、歴史に名を残す旅人たちの足跡残る街道をひととき迎れば、宿場町や茶屋、関所や並木、一里塚と、道沿いに次々と往時のままの情景が立ち現われてきて、遥^とか時代を超え、訪れる者を江戸の旅へと誘^{いざな}います。



【箱根旧街道の石畳道】

⑨ 広川町（和歌山県）

≪「百世の^{あんど}安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～≫

（ストーリーの概要）

広川町の海岸は、松が屏風のように立ち並び、見上げる程の土盛りの堤防が海との緩衝地を形づくり、沖の突堤、海沿いの石堤と多重防御システムを構築しています。

堤防に添う町並みは、豪壮な木造三階建の楼閣がそびえ、重厚な瓦屋根、漆喰や船板の外壁が印象的な町家が、高台に延びる通りや小路に面して軒を連ね、避難を意識した町が築かれています。

江戸時代、津波に襲われた人々は、復興を果たし、この町に日本の防災文化の縮図を浮び上らせました。防災遺産は、世代から世代へと災害の記憶を伝え、今も暮らしの中に息づいています。



【広村堤防が築かれた広川町の海岸】

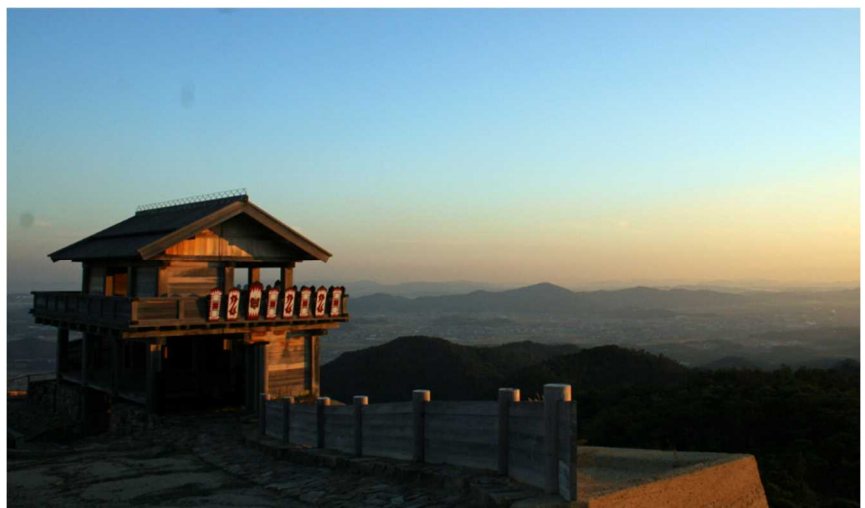
⑩ ◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市（岡山県）

≪「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が^{いざなう}誘う鬼退治の物語～≫

（ストーリーの概要）

いにしえに^{きび}吉備と呼ばれた岡山。この地には鬼ノ城と呼ばれる古代山城や巨大墓に立ち並ぶ巨石などの遺跡が現存する。これら遺跡の特徴から^{きびつひこのみこと}吉備津彦命が^{うら}温羅と呼ばれた鬼を退治する伝説の舞台となった。絶壁にそびえる古代山城は、その名の通り温羅の居城とされ、巨石は^{みこと}命の^{たて}楯となった。勝利した^{みこと}命は巨大神殿に祀られ、敗れた温羅の首はその側に埋められた。

鬼退治伝説は、古代吉備の繁栄と屈服の歴史を背景とし、桃太郎伝説の原型になったとされ、吉備の多様な遺産は今も訪れる人々を神秘的な物語へと^{いざな}誘ってくれる。



^{きのじょうさん}
【鬼城山】

⑪ 福山市（広島県）

《瀬戸の夕凧が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～》

（ストーリーの概要）

夕暮れ時になると灯りのともる石造りの「常夜燈」は、港をめざす船と港の人々を160年間見守ってきた鞆の浦のシンボル。

「雁木」と呼ばれる瀬戸内海の干満に合わせて見え隠れする石段が、常夜燈の袂から円形劇場のように港を包み、その先端には大波を阻む石積みの防波堤「波止」が横たわる。

瀬戸内の多島美に囲まれた鞆の浦は、これら江戸期の港湾施設がまとまって現存する国内唯一の港町。潮待ちの港として繁栄を極めた頃の豪商の屋敷や小さな町家がひしめく町並みと人々の暮らしの中に、近世港町の伝統文化が息づいている。



【灯りのともる常夜燈と雁木】

⑫ ◎豊後高田市、国東市（大分県）

《鬼が仏になった里「くにさき」》

（ストーリーの概要）

「くにさき」の寺には鬼がいる。一般に恐ろしいものの象徴である鬼だが、「くにさき」の鬼は人々に幸せを届けてくれる。

おどろおどろしい岩峰の洞穴に棲む「鬼」は不思議な法力を持つとされ、鬼に憧れる僧侶達によって「仏（不動明王）」と重ねられていった。「くにさき」の岩峰につくられた寺院や岩屋を巡れば、様々な表情の鬼面や優しい不動明王と出迎え、「くにさき」の鬼に祈る文化を体感できる。

修正鬼会の晩、共に笑い、踊り、酒を酌み交わす——。「くにさき」では、人と鬼とが長年の友のように繋がる。



【鬼が棲む奇岩靈窟「鬼城」と表情豊かな鬼の面】

⑬ ◎西都市、宮崎市、新富町（宮崎県）

《古代人のモニュメント ー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー》

（ストーリーの概要）

日本独自の形である前方後円墳という古墳が造られた時代。宮崎平野でも西都原古墳群を始め多くの古墳が造られました。列島各地であまた造られた古墳のある景観(風景)は、時の移ろいの中で様変わりしますが、宮崎平野には繁栄した当時に近い景観が今も保たれています。台地に広がる古墳の姿形が損なわれることなく、古墳の周りには建築物がほとんどない景観は全国で唯一です。

古墳を横から、上から斜めから。いろんな形と古墳のある景観を楽しんでみませんか？



【西都原古墳群】

平成30年度「日本遺産(Japan Heritage)」申請一覧

別紙3

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎室蘭市、登別市、伊達市、白老町、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町	西胆振ピリカノカ・ジャーニー～アイヌ語地名に秘められた神話と伝承をたどって～
2	北海道	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当麻町、東川町、比布町	カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふとこに伝承される神々の世界～
3	北海道	◎標津町、根室市、別海町、中標津町、羅臼町	メナシ(東方の地)を継ぐ人々の物語～根室海峡沿岸地域の農漁村景観とそのルーツ～
4	青森県	弘前市	まるごとりんごの城下町弘前～サムライが生んだ日本一のりんご～
5	青森県	◎八戸市、階上町、三戸町、南部町、五戸町、おいらせ町	『やませ物語～光と影の遺産を巡るはちのへ南部路～』
6	岩手県、秋田県	岩手県(◎盛岡市、奥州市、矢巾町)、秋田県(秋田市、大仙市)	北の国境をゆく ～北東北の城柵と蝦夷がおりなす国家の最前線～
7	宮城県、岩手県	宮城県(◎涌谷町、気仙沼市、南三陸町)、岩手県(平泉町、陸前高田市)	みちのくGOLDろまんツーリズム＝黄金の国ジバング、産金はじまりの地を巡る＝
8	秋田県	北秋田市	阿仁マタギ ～山に生かされる共生の暮らし～
9	山形県	◎山形県(米沢市、川西町)	サムライのライフスタイル～ウコギと米沢織が育んだ街～
10	山形県	◎山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町)	山寺が支えた紅花文化
11	茨城県、山梨県	◎茨城県牛久市、山梨県甲州市	日本ワインの歴史ロマン薫る風景 ～近代化と先人たちのワイン醸造140年～
12	栃木県	宇都宮市	地下迷宮の秘密を探る旅 ～大谷石文化が息づくまち宇都宮～
13	栃木県	益子町	伝統と新風のグラデーション～癒し・ときめき 陶の郷まじこ～
14	栃木県、茨城県	◎栃木県小山市、茨城県結城市	究極の手作業 唯一無二の至高の絹織物—結城紬—
15	栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県	栃木県(◎栃木市、小山市、野木町)、茨城県古河市、群馬県板倉町、埼玉県加須市	水を克服し、水との生き方を選んだ人々の知恵が生きる 本州最大の湿原渡良瀬遊水地
16	栃木県	◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町	明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～
17	群馬県	甘楽町	郷愁紀行『絵になるまち上州小幡』—伝承を語る石垣と石積水路—
18	埼玉県	川越市	「火廻り要領」の心が息づくまち ～時の鐘が語る城下町川越～
19	千葉県	◎千葉県(木更津市、富津市、鋸南町、南房総市、館山市、鴨川市、勝浦市、御宿町、いすみ市、一宮町、千葉市)	房総の「4つの海」干潟・交流・荒波・砂浜の4つの海を巡る歴史文化と景観・恵みの旅
20	千葉県、岩手県、宮城県、福島県、岐阜県、佐賀県	◎千葉県(千葉市、佐倉市、酒々井町、多古町、東庄町)、岩手県一関市、宮城県涌谷町、福島県(相馬市、南相馬市)、岐阜県郡上市、佐賀県小城市	BUSHIDO～北天の星と生きた一鎌倉武家が指し示す、武士の道～
21	千葉県、岩手県、高知県、東京都	◎千葉県富里市、岩手県雫石町、高知県安芸市、東京都台東区	日本近代農牧業に記された岩崎家の足跡
22	神奈川県	小田原市	日本最大級の宿場町の伝統物産 ～小田原提灯ぶらさげて、小田原を味わいつくす～
23	新潟県	十日町市	「雪地獄」から「雪の理想郷」へ —豪雪の郷・十日町の春夏秋冬—
24	新潟県	妙高市	三尊仏と滝がつくる祈りの風景 ～妙高山に寄り添い、妙高山と一つになるまち～
25	富山県	南砺市	宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波
26	富山県	◎富山県(富山市、高岡市、滑川市、立山町)	薬都とやま～立山からの幕開き～
27	石川県	◎能登町、珠洲市、輪島市、七尾市、羽咋市、宝達志水町、中能登町、志賀町、穴水町	能登半島の里山里海景観に息づく深紅の花々 ～のとキリシマツツジ古木群～
28	石川県	加賀市	日本の湯治と轆轤工芸のまち ～旅人が育てた五感を癒す山中温泉～
29	石川県、富山県	◎石川県津幡町、富山県小矢部市	くりから紀行 ～戦いの記憶と祈りにふれる峠の旅路～
30	福井県	◎福井県(福井市、あわら市)	中世・戦国の世界を未来につなぐ懸け橋 —戦国越前文化と福井—
31	福井県	大野市	思いやり助け合う日本人の伝統がつくる清けしまち
32	福井県	◎越前市、鯖江市、越前町	六千年の越前工芸伝説— 古人から受け継がれた技と技術が今も人々を驚かす —
33	福井県	◎永平寺町、勝山市	越前白山麓に息づく「神仏が宿る住まい」～禅とともに広がった社寺づくりの技と食文化～
34	山梨県	◎山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)	葡萄畑が織りなす風景—山梨県峡東地域—

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
35	長野県	◎安曇野市、松本市、大町市、池田町、松川村	地球の歴史を刻む峰々—北アルプスに抱かれた道祖神の里 安曇野—
36	長野県	千曲市	月の都 千曲 —今も昔もかわらぬ観月地—
37	長野県、山梨県	◎長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村)、山梨県(甲府市、北杜市、韭崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)	星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—
38	岐阜県、岡山県	◎岐阜県関市、岡山県瀬戸内市	鋼と炎の芸術「日本刀」の聖地～関・長船～
39	岐阜県	郡上市	御師がいざなう神の里～白山信仰の歴史と文化の源流を訪ねて～
40	岐阜県、東京都、埼玉県、栃木県、福島県、宮城県、岩手県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県	岐阜県(◎大垣市、垂井町)、東京都(江東区、荒川区、足立区)、埼玉県草加市、栃木県(鹿沼市、日光市、大田原市)、福島県白河市、宮城県(岩沼市、松島町、多賀城市、栗原市、大崎市)、岩手県(一関市、平泉町)、秋田県にかほ市、山形県(遊佐町、最上町、大石田町)、新潟県出雲崎町、富山県(滑川市、高岡市)、石川県(金沢市、小松市、加賀市)、福井県敦賀市、三重県伊賀市	芭蕉が残した自然観・風景観～時代を超えて詠われた地
41	静岡県	掛川市	もったない 知恵と工夫が風景になった 掛川
42	静岡県、神奈川県	静岡県(◎三島市、函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道—箱根八里で迎える豊かな江戸の旅路—
43	静岡県、愛知県、長野県	静岡県(◎浜松市、湖西市)、愛知県(豊橋市、田原市、豊川市、新城市、蒲郡市、東栄町、設楽町、豊根村)、長野県(飯田市、天龍村、阿南町、阿智村、大鹿村、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、箕輪町、辰野町)	飯田線レイルロードムービー ～海拔0mから3000mまで、日本の中央秘境を巡る～
44	愛知県	岡崎市	天下人ブランドが息づくまち三河岡崎
45	愛知県	知立市	旅からすべてはじまった～交通の要衝、知立でたどる街道文化～
46	三重県	◎鳥羽市、志摩市	海女(AMA)の郷 鳥羽・志摩～海民の祈りと信仰～
47	滋賀県、和歌山県、大阪府、奈良県、京都府、兵庫県、岐阜県	滋賀県(◎大津市、長浜市、近江八幡市)、和歌山県(那智勝浦町、和歌山市、紀の川市)、大阪府(和泉市、藤井寺市、茨木市、箕面市)、奈良県(高取町、明日香村、桜井市、奈良市)、京都府(宇治市、京都市、亀岡市、宮津市、舞鶴市)、兵庫県(宝塚市、加東市、加西市、姫路市)、岐阜県揖斐川町	観音巡礼の根源・西国三十三所観音巡礼～1300年間継承されてきた「巡礼」の原風景～
48	滋賀県	長浜市	秀吉が造ったコンパクトシティ・長浜城下町 スクエアな町並みに栄えた「自治の伝統」
49	滋賀県	東近江市	「木地師の村、奥永源寺の小椋谷 —木地師発祥の地と政所茶」
50	京都府	◎京都府(京都市、亀岡市、南丹市)	1200年、京のみやこを支え交わった～丹波・北山～森・里・川の物語
51	大阪府	河内長野市	本物の中世に出逢える里～河内長野でたどる僧と民衆が創った風景～
52	大阪府	◎大阪市、堺市	町人のエネルギーあふれる彩とにぎわいのまち—大阪
53	大阪府	池田市	500年の植木の郷 池田・細河郷
54	兵庫県	赤穂市	瀬戸内海の「白い宝石」・塩 ～潮を煮て業とした塩の国 播州赤穂～
55	和歌山県	広川町	「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～
56	和歌山県	◎和歌山県(日高川町、田辺市、御坊市、印南町、みなべ町)	今も息づく「語り」～安珍と清姫がたどった道～
57	鳥取県、兵庫県	鳥取県(◎鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)、兵庫県(香美町、新温泉町)	日本海の風が創り出す絶景—幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」
58	岡山県	◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～
59	岡山県、香川県	◎岡山県笠岡市、香川県(丸亀市、土庄町、小豆島町)	どっすん！石の島 ～海と山、巨石が呼んでる備讃諸島～
60	岡山県、長崎県、鹿児島県	◎岡山県総社市、長崎県対馬市、鹿児島県南種子町	赤米風土記 ～祈りがつなぐ米の道、海の道～
61	岡山県、兵庫県	岡山県(◎美作市、西粟倉村)、兵庫県宍粟市	国境の秘境で生まれた異能集団の技と文化—宗教と異能技術を追体験—
62	広島県	◎三原市、安芸高田市、北広島町	神も仏もわが味方！戦国「三本の矢」物語 ～ひろしま・安芸毛利三兄弟のふるさと～

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
63	広島県、島根県	広島県(◎三次市、府中市世羅町、尾道市)、島根県(大田市、飯南町、美郷町)	徳川幕府の財政を支えた石見銀山街道～山陰と山陽を結ぶ銀輸送専用“官道”～
64	広島県	東広島市	吟醸酒発祥の地 東広島 —まちなか酒蔵集積地—
65	広島県	福山市	瀬戸の夕風が包む 国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む瀬戸の浦～
66	山口県	山口市	都のうつし絵 山口 ～四神相応の地に浮かぶ中世日本のおもかげ～
67	徳島県、兵庫県	◎徳島県(徳島市、鳴門市)、兵庫県南あわじ市	三つの潮流が渦巻く「鳴門」～日本でただ一つの「鳴る瀬戸のまち」～
68	徳島県	◎藍住町、徳島市、吉野川市、阿波市、美馬市、石井町、北島町、板野町、上板町	400年の伝統の技が息づく藍の里 阿波
69	長崎県、佐賀県、福岡県	長崎県(◎長崎市、諫早市、大村市)、佐賀県(嬉野市、小城市、佐賀市)、福岡県(飯塚市、北九州市)	長崎街道シュガーロード～スイーツの旅～
70	長崎県、宮崎県	長崎県(◎南島原市、大村市、西海市、雲仙市、波佐見町)、宮崎県西都市	天正遣欧少年使節物語 ～日本初 ヨーロッパの地を訪れた少年たちの軌跡～
71	大分県	◎豊後高田市、国東市	鬼が仏になった里「くにさき」
72	宮崎県	◎串間市、日南市	南国情緒に彩られた紺碧の回廊 —黒潮に育まれた日南・串間における人々の営み—
73	宮崎県	◎西都市、宮崎市、新富町	古代人のモニュメント —台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観—
74	宮崎県	◎日向市、門川町	岩岩いこうぜ！ ロックな景観 ～時を超えて柱状節理がもたらした恩恵～
75	鹿児島県	◎鹿児島県(出水市、指宿市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、姪良市)	明治維新の原動力・薩摩藩の武士達が生きた町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～
76	沖縄県	うるま市	南国の初夏を彩る「照間のビーグ」—湧き水に支えられた島の伝統—

※ 太字は平成30年度の「日本遺産(Japan Heritage)」に認定されたもの

「日本遺産 (Japan Heritage)」について

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。

1. 認定対象

- 日本遺産は、以下の点を踏まえたストーリーを認定する（文化財そのものが認定の対象となるわけではない）。
 - ・ 歴史的経緯や、地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーであること。
 - ・ ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
 - ・ 単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

- ストーリーのタイプとしては2種類
 - ・ 「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結。
 - ・ 「シリアル型（ネットワーク型）」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開（複数の市町村に下記「ストーリーの構成文化財」が所在）。

2. ストーリーを語る上で不可欠な文化財群（ストーリーの構成文化財）

- 地域の魅力ある有形・無形の文化財群の一覧を作成するものとする。
- 構成文化財は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を対象とし、地方指定や未指定の文化財も可能とする。
- 日本遺産のストーリーが我が国の文化・伝統を語るものであることから、文化財群の中に国指定・選定のものを必ず一つは含めることとする。

3. 認定申請の手続き

(1) 申請者

- 日本遺産の申請者は市町村とし、文化庁への申請は都道府県教育委員会を經由して行う。
- シリアル型の場合、原則として市町村の連名とするが、当該市町村が同一都道府県内に所在する場合は当該都道府県が申請者となることも可能。

(2) 認定申請を行うに当たっての条件

- 認定申請を行うことができるのは、歴史文化基本構想又は歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、若しくは世界文化遺産一覧表記載案件又は世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件を有する市町村とする。
- 地域型の申請の場合は上記の条件が必須であるが、シリアル型の申請の場合は満たすことが望ましい。

(3) 認定の可否

- 認定可否は、文化庁に設置する外部有識者で構成される「日本遺産審査委員会」の審査結果を踏まえて、文化庁が決定する。

(4) 認定基準

- ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。
※ストーリーについては、以下の観点から総合的に判断する。
 - ・興味深さ（人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容となっているか。）
 - ・斬新さ（あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出しているか。）
 - ・訴求力（専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか。）
 - ・希少性（他の地域ではあまり見られない稀有な点があるか。）
 - ・地域性（地域特有の文化が現れているか。）
- 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。
- ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

日本遺産審査委員会委員名簿

稲葉 信子 筑波大学大学院教授

ロバート キャンベル 国文学研究資料館長

小山 薫堂 放送作家・映画脚本家

里中 満智子 漫画家

◎下村 彰男 東京大学大学院教授

田村 明比古 観光庁長官

丁野 朗 東洋大学国際観光学部客員教授

デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社代表取締役社長

広瀬 和雄 国立歴史民俗博物館名誉教授

山田 拓 株式会社美ら地球 代表取締役

(◎委員長)